

**授業概要**

本科目ではイスラーム教の成立した 7 世紀から現代に至るまでのイスラーム諸国の建築芸術を通じて、イスラーム文化の歴史と文化について講義する。イスラーム文化の多様性を理解するために、本科目においてはイスラーム勃興期の中東から始め、北アフリカ、イベリア半島、中央・南アジアなど世界の様々な地域におけるイスラーム社会の歴史・思想・文化について取り上げて講義を行う。「神の家」としての神殿的機能を持たない宗教建築において、偶像や祭壇などが排除された純粋な礼拝空間（モスク）においてどのように神の権威を表そうとしてきたのか、あるいは王宮や都市構造において、イスラーム的なものとはどのようなものであろうか。このような問いを中心として、本科目では、イスラーム文明の多様な時代と地域におえる、宗教施設、王宮施設、公共施設、都市構造について学んでいく。

**授業計画**

第 1 回	ガイダンス：イスラーム建築の様々な建造物種類について
第 2 回	イスラーム教の成立と正統カリフ時代
第 3 回	ウマイヤ朝
第 4 回	アッバース朝
第 5 回	ファーティマ朝
第 6 回	北アフリカにおけるイスラーム文化
第 7 回	イベリア半島におけるイスラーム文化
第 8 回	マムルーク朝
第 9 回	オスマン帝国
第 10 回	セルジューク朝
第 11 回	アル＝カーン朝
第 12 回	ティームール朝
第 13 回	サファヴィー朝
第 14 回	ムガル帝国
第 15 回	周縁文化のイスラーム建築
第 16 回	筆記試験

**到達目標**

- ①イスラーム教の成立期から現代に到るまでのイスラーム史全体の大まかな流れを把握する。
- ②各時代・地域におけるイスラーム建築の代表例を通じてその社会の特色を理解する。
- ③イスラーム建築特有の空間や部材などの建築上の基本的な概念を理解する。

**履修上の注意**

イスラームの歴史や文化、あるいは建築や遺跡などに関心のある受講者の参加を歓迎します。

**予習・復習**

シラバスに従って基本的な知識を予習しておいてください。  
講義後は、配布されたプリントと参考文献などを読んで、復習を行って、知識を深めてください。

**評価方法**

平常点（50%）、期末試験（50%）

**テキスト**

教科書は使用せず、毎回プリントを配布します。  
授業中に取り上げた事項についてさらに深く学ぶために必要な書籍などは適宜授業中に紹介します。